

令和4年第2回西之表市議会定例会

所信表明並びに提案理由説明



おはようございます。

本日、ここに令和4年第2回西之表市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位には御出席くださいます、誠にありがとうございます。

世界的にも年々脅威を増す気候変動や道半ばの新型コロナウイルスとの闘い、そして激変する国際情勢、私たちを取り巻く環境は様変わりし、国防のみならず、エネルギーや食料、経済の安全保障など国の根幹に関わる複合的な危機が一気に押し寄せている状況にあります。

このようななか、政府は、国の成長戦略である「新しい資本主義」実行計画を決定し、人材への投資など重点4分野を示しました。今後も国の物価高騰に対応した経済対策を注視してゆきたいと思えます。先般、地元選出国會議員や各省庁を訪問し本市の懸案事項について要請活動を行ってきました。「航路・航空路運賃低廉化事業の支援拡充」、「医療従事者確保」、「農水産業の振興」の3点について要請いたしました。

今後も離島特有の課題等に対し実情を訴えつつ、国に対策を講じていただくよう求めてまいります。

また、この機会を利用してポルトガル大使公邸も訪問しまして、着任間もない大使並びに外務副大臣と鉄砲伝来480周年等、今後の交流についての意見交換をしたところであります。

それではまず、新型コロナウイルス感染症についてであります。世界中で猛威を振るう未曾有の事態が二年以上続いております。このような危機的な状況のなかで、日々、医療や暮らしを支えるすべての方々に敬意を表します。

本市のこれまでのワクチン接種の状況についてであります。

5月末日現在で3回目までの接種を終えた方の割合は、65歳以上の方が86.6%、18歳以上から64歳以下の方が74.5%、12歳以上17歳以下の方は、27.8%、また2回目の接種を終えた5歳から11歳の方については、24.1%となっています。

また、4回目のワクチン接種については、現在実施に向け準備をすすめているところであります。円滑に開始できるよう、必要な準備をしっかりと整えてから進めてまいりたいと考えています。

市民の皆様には、引き続き、手洗い、手指消毒、適切なマスクの着用、身体的距離の確保等感染症予防に努めていただきたいと思います。

ます。

市の行事についてであります。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い市の行事がほぼ中止されるなか、2年間開催しておりませんでした生涯スポーツ大会を、5月8日日曜日、屋外競技のソフトボールをあっぱ〜らんど多目的グラウンドで、グラウンドゴルフを市営グラウンドで開催いたしました。感染症予防対策を十分にとったなかでの開催であり、コロナ前とは違った形での大会運営にはなりましたが、参加者同士の親睦が図られたのではないかと思います。

次に、馬毛島問題についてです。

環境影響評価準備書につきましては、今後、国民の意見の概要及び意見に対する事業者の見解が防衛省から送付されてきます。これを受け、市としての意見を取りまとめ、知事に提出します。この意見が、環境影響評価の手続きにおいて、市長としての意見を伝える最後の機会となります。

住民の不安や期待を目に見える形で整理する目的で設置した防衛省との協議の場は、これまで7回の協議を実施しました。私自身も適

宜参加しました。この協議を通じて、防衛省に我々の考えを直接伝え、防衛省からの説明を受けました。もちろん、立場が異なりますので、考えが完全に一致したわけではありませんが、お互いの意見の交換もあり極めて有意義なものとなったと考えています。今後は、市民の安心安全を確保するために、より具体的に基地の運用により、実際に問題が生じることを想定して、どのように対応するかについて、詳細をつめていく必要があると考えています。この観点から、「住民の不安と期待に関する論点」を整理の上、防衛省に回答を求めていきたいと考えています。年度内の工事着工を目指す国の動き、そして、西之表市の業者もその工事の契約相手となっていること、種子島への航空自衛隊の官舎設置の動きなども考慮しますと、本問題は大きな山場を迎えつつあります。

今後、防衛省の市民の不安の解消や期待への対応に対する考え方や取組みを評価した上で、私自身の本問題に対する一定の考えを述べたいと考えています。

続きまして、産業の分野、農林水産業の状況について報告をいたします。

農業分野の令和3年度農業生産概況につきまして、概算値ではありますが粗生産額が56億4千6百万円となり、昨年度と比較し約3億1千百万円の増となっております。

増収の大きな要因につきましては、サツマイモ基腐病の影響は、あるものの、サトウキビやバレイショ、茶の生産額が伸びたことによります。

主要品目の生産概況については、基幹作物であるサトウキビが生産量4万1千748トン、平均反収6トン784キロ、生産額9億5千348万円となり対前年度比2億8千798万円の増収となりました。

青果用さつまいもについては、昨年度のサツマイモ基腐病の影響による面積の減少とあわせ、生産量が約50%減となったことから、生産額について2億2千7百万円となり、約2億6千3百万円の減収となりました。

サツマイモ基腐病対策につきましては、本年度からサツマイモ基腐病対策班を設置し、引き続き、関係機関と連携して圃場の巡回、農家への情報提供等に取り組んでまいります。

また、令和4年3月2日に「種子島安納いも」が地理的表示（GI）保護制度に登録されたことから、安納いもブランド推進本部と連携し、安納いものさらなるブランド力向上に努めます。

園芸品目の主要作物であるバレイショは、昨年度と比較し面積が約20ヘクタール増加したことから反収の増、さらに本年度も高値で取引されたことから約7億円となる見込みで、約4千9百万円の増となる見込みであります。

畜産は、23億4千6百万円で、7千4百万円の増収となりました。

肉用牛については、コロナ禍による価格低迷から徐々に持ち直しつつあり、昨年より8千239万円の増となったものの、酪農については、依然としてコロナ禍による影響により736万円の減となりました。

鳥獣による農業被害額については、農業者アンケートによると1千7百8万円となっており、前年度より約56パーセントの減少に転じております。引き続き、被害防止に向け、捕獲活動への支援、ネット・金網柵による防護対策に努めていきます。

林業については、離島活性化交付金を活用し、林産品の島外出荷



に係る海上輸送費の支援を実施しました。木材チップが3千142 BDT、原木が1千500立米、製材が186立米の実績となりました。

水産業の状況ですが、種子島漁協における令和3年度の水揚げ総額の速報値は、前年度を約1億6千4百万円下回る約4億6千4百万円となりました。本市の水揚げにおいても約9千3百万円減の2億2千2百万円の実績となっております。要因としましては、昨年のモジャコ漁において、潮流の影響等により、熊毛海域にあまり藻が見られず、操業期間を延長したものの、漁獲数量が計画の半分を下回る水揚げとなりました。

本年のモジャコ漁につきましては、3月7日に開始され4月13日で終了し好調であったと伺っており、今年度の水揚量に大いに期待しているところです。

新型コロナウイルス感染症の影響により、需要が減少し、魚価も低迷していることから、漁業者の生活の安定を図り水産物の安定供給と地域活性化を図るための支援に引き続き取り組んでまいります。

次に、商工業等の取組みについてです。

まちづくりについては、第6次長期振興計画に基づき、歴史と国際色豊かな港町の再生を図り、中心市街地（商店街）の活性化をめざすための「港町再生」に、引き続き取り組みます。

昨年度、商店街内に建設しました「旧榕城分団跡地施設」についてワーケーション機能その他の活用方法の検討や同施設の外構整備についてのワークショップ活動を行いながら、市民交流の拠点としての在り方を構築してまいります。

また、原油価格等の高騰による物価高騰が問題となっております。これに対応するための事業者等への支援についての予算も今定例会の補正予算に計上をしております。

観光振興につきましては、国内での認知度向上のための各種プロモーションを行い誘客に努めます。ふるさと納税については、令和3年度の実績が2億800万となり、過去最高であった前年度より2400万円の増となりました。本年度に入りましても昨年度の実績を上回るペースで推移してきております。今後、新たなふるさと納税サイトへの登録による利用者の取り込み、併せて特産品振興の観点もふまえ、返礼品取扱事業者の加入を推進することで、商工業者の支援に繋げてまいりたいと考えております。

それでは、本日提案いたしました議案についてご説明いたします。

本定例会に提案いたしました議案は、西之表市税条例等の一部を改正する条例など条例の一部を改正する専決処分報告4件、令和3年度西之表市一般会計補正予算専決処分報告5件、令和3年度西之表市一般会計及び水道事業会計繰越明許費計算書の報告2件、令和4年度西之表市一般会計補正予算専決処分報告1件、令和4年度西之表市一般会計補正予算など予算議案6件の合計18件であります。

議案説明についての主なものは、一般会計補正予算で、「新型コロナウイルス感染症拡大対策事業」として人事管理費に71万5千円、企画費に1千万円、水産振興費に4百70万円、商工振興費に5千38万5千円、学校給食費に6百3万1千円、教育振興費に6百44万8千円、国庫補助事業等を活用した、さつまいも基腐れ病対策として農業振興費に2千6百13万7千円、社会資本整備総合交付金内示額の決定により道路新設改良費に1千992万7千円、今後の災害や新型コロナウイルス感染症対策財源として予備費に2千4百94万円それぞれ追加、その他、各費目に4月1日付け人事異動に伴う人件費を計上しております。

この結果、歳入歳出予算の総額に1億5千863万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ11億4千581万3千円とするものであります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

以上の議案につきましては、議員各位にご審議をいただきますようお願い申し上げます、私の市政に対する所信表明並び提案理由の説明といたします。ありがとうございました。

令和4年6月17日

西之表市 八板 俊輔